

平成30年度 学校自己評価のまとめ(前・後期)

熊谷市立大原中学校

※教員自身による評価

※数字は、4点を満点とした教職員の平均値を示しています。(右端が後期の数値、グラフ横は前期の数値)

1 「自ら学ぶ生徒(知力)」の育成

- (1) 「学力日本一」を目指す基礎・基本の定着
 - ① 進路を意識させた学習意欲の育成
 - ② くまがやラグビー・オリパラプロジェクトの取り組み
 - ③ 補充学習の充実
- (2) 学習内容を明確にした授業の推進
 - ④ 本時の課題とまとめを明確に示した板書指導
 - ⑤ 適切な評価と事後指導
 - ⑥ 生徒を褒めて認め、明るい雰囲気での授業を実施
- (3) 学習規律を確立し、学び合い学習の推進
 - ⑦ 授業の約束を徹底
 - ⑧ 話し合い活動等を取り入れた学習活動を展開
 - ⑨ 生徒会によるノーチャイムデーの実施
- (4) 「主体的・対話的で深い学び」学習指導の充実
 - ⑩ ラウンドシステムの考え方を全ての教科で実施
 - ⑪ 新学習指導要領総則の内容を今年度の教育課程から実践
 - ⑫ 全校朝読書で好きな生徒を育成
- (5) 課題のある生徒への指導
 - ⑬ 多面的な生徒理解から全教職員での支援・指導
 - ⑭ 家庭と緊密な連携と外部専門機関との連携
 - ⑮ 生徒を褒めて認め、自信をつけさせ自己有用感の育成

2 「思いやりのある生徒(徳力)」の育成

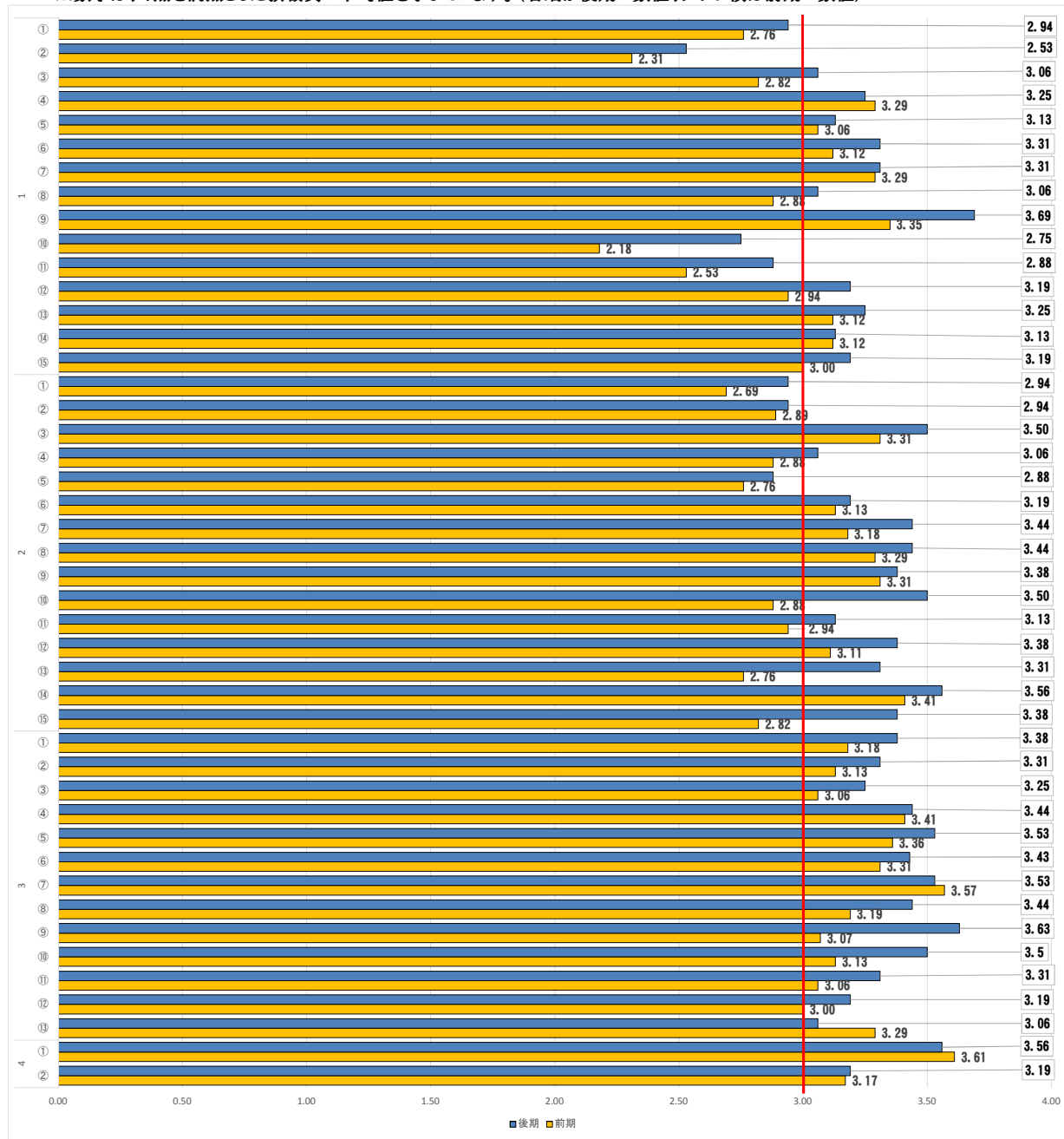
- (1) 人権教育・道徳教育の充実
 - ① 創意工夫のある道徳授業の実施(身近な生活の中から)
 - ② 教育環境を整える(清掃指導の徹底・言語環境を重視)
 - ③ ハートフル学級を年間20回実施し、人権学習を取り入れる
- (2) ノーマライゼーション教育の推進
 - ④ 特別支援教育の視点を全ての学習活動に生かす
 - ⑤ 課題のある生徒の学習環境を整備し、全教職員で指導する
 - ⑥ 特別支援学校との交流を継続(32年間続く)
- (3) 生徒指導の充実
 - ⑦ 生徒指導と教育相談会議を年間40回開催 生徒理解を深める
 - ⑧ いじめアンケートを毎月実施 緊急職員会議で早期解決へ
 - ⑨ 小中連携担当教員を配置し、西小、石原小へ派遣する
- (4) 歌声が響き、花々の咲く学校を推進
 - ⑩ 学校行事の取り組みを重視し、一体感のある学校づくりを推進する
 - ⑪ 校内外の花壇を生徒・保護者・教員で花を植え。交流を深める
 - ⑫ 校内掲示物の充実を図る
- (5) 生徒の自主的活動の推進
 - ⑬ 生徒会活動の活性化を図る
 - ⑭ 生徒活動日を設定する
 - ⑮ 生徒が主体となる集会を増やし、大中学生として所属感を高める

3 「心身を鍛える生徒(体力)」の育成

- (1) 行事を通してたくまじい生徒を育成
 - ① 体育祭、林間学校、合唱祭、卒業式
- (2) 安心安全な学校づくり
 - ② 自転車通学者ヘルメット着用と保険加入指導
 - ③ 清掃で心身を鍛え、定期点検で美しく安全な学校
 - ④ 規律と一体感のある集会の実施(毎月の全校/学年/生徒会)
- (3) 体力・運動技能の向上
 - ⑤ 体を動かし汗を流す体育の授業への取り組み
 - ⑥ 明確な個人目標を持たせた体育の授業
 - ⑦ 授業で規律ある集団行動育成
- (4) 健康教育の推進
 - ⑧ 家庭と連携したHQCシートを活用した生活改善
 - ⑨ 親校性教育講演会・がん予防講座等外部機関との連携
 - ⑩ 保健だよりを通じた健康・安全情報の発信
- (5) 部活動の適正化を図る
 - ⑪ 生徒の安全を第一に考えた部活動に改善
 - ⑫ 外部専門指導者の積極的な活用
 - ⑬ 全ての教員が顧問となり、学校全体で生徒を応援

4 その他

- ① 積極的な情報発信(諸たより、防犯メール、ホームページなど)
- ② つながる学校づくり(生徒同士、保護者、地域、小高特、専門機関、教職員、学習、進路)



4 … 十分達成 3 … おおむね達成 2 … まだ不十分 1 … 目標、方策の見直し必要